

変更点

1

特級第一次予選の古典課題曲

※「5. 課題曲」参照

2009 年度	2010 年度
ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタからソナタ形式を持つ楽章を含む1つ以上の楽章。	ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタから1つ以上の楽章。

変更点

2

Jr.G 級予選 (ハイドン) の課題曲

※「5. 課題曲」参照

下記の3曲より1曲を選択すること。※リピートは省略すること
ハイドン ソナタ 二長調 Hob.XVI/24 第1楽章
ハイドン ソナタ 変ホ長調 Hob.XVI/28 第1楽章
ハイドン ソナタ 八長調 Hob.XVI/35 第1楽章

第34回 ピティナ・ピアノコンペティション特級・G級・Jr.G級

参加規定

※以下の文章は、参加規定のうちソロ部門特級・G級・Jr.G級に関する部分を抜粋したものです。全文をお読みになりたい方は、<http://www.piano.or.jp/compe/> をご覧ください。

社団法人全日本ピアノ指導者協会主催、ピティナ・ピアノコンペティション・演奏検定に参加申込をされた方は、以下の参加に関する規定に同意したものとみなします。

2. 参加地区の併願

[地区予選・第一次予選]

A) ソロ部門

- (1) 異なる級の併願はできません。同一級において参加地区は2地区までです。
- (2) 他部門(デュオ部門・グランミュージック部門(Ya,Ybカテゴリーを除く))との併願が可能です。

3. 参加地区・会場

- (1) 予備日を含め、2日以上開催される場合の日時指定はできません。
- (2) 申込数が規定人数を超えた場合、他地区に移動していただくことがあります。
- (3) 都合により、会場が変更になる場合があります。

4. 参加申込の受理

- (1) 申込締切日を過ぎて到着した場合、参加申込を受理することはできません。
- (2) 参加申込書の到着の確認は行っておりません。締切日後に発送される「登録情報カード」の到着をもって申込受理とみなします。申込締切後14日以内に登録情報カードが届かない場合は本部事務局まで速やかにご連絡下さい。ご連絡がない場合は、申込地区で受けられないことがあります。

5. 課題曲の登録・変更

- (2) 参加申込書に記入された曲目と、当日演奏された曲目が異なる場合、失格となります。
- (3) 第二次予選では課題曲変更はできません。(地区予選・第一次予選の締切日以降)

6. 指導者の登録と指導者賞

- (1) 地区予選→第一次予選→地区本選→第二次予選→全国決勝大会を通じて、1組の参加申込(1つの申込番号が与えられる申込)について、指導者の登録は2名までです。
- (2) 地区予選・第一次予選申込書に指導者名が記入されていない場合、または指定の期日および方法で指導者登録追加手続をしなかった場合、指導者賞受賞者の対象とはなりません。
- (3) 指導者賞受賞の対象は個人の指導者のみで、音楽教室などの団体は受賞の対象にはなりません。
- (4) 当日、参加者が欠席した場合、指導者賞のポイントに換算いたしません。
- (5) 地区本選・第二次予選の参加数は、指導者賞のポイントに換算いたしません。

7. 審査当日

- (1) 参加者は、参加票に記載された参加級・グループの審査開始時刻の5分前までに到着しなければ「遅刻」扱いとなります。この場合、遅刻者の演奏順をつめることは決定とし、地区予選・第一次予選では平均点、地区本選・第二次予選は上下カット平均点より0.3点の減点となります。また、全国決勝大会でも、上下カット平均点より3点の減点となります。遅刻者は、参加級の審査終了時刻までに間に合えば、参加級の最後にまわして審査します。審査終了時刻以降に到着した場合には、実施事務局と審査員の判断により、開催日中に弾く機会を提供するかどうかを決定します。演奏した場合は、採点はせず、演奏コメントのみの交付とします。

- (2) 審査時間の指定、変更はできません。
- (3) 審査については、審査員に一任しております。ご不明な点、ご意見がございましたら本部事務局までお寄せください。ただし、匿名のご意見・お問合せには対応いたしかねます。

8. 演奏の著作権・録音など

- (1) ピティナ・ピアノコンペティションで行われる演奏についての録音・録画・撮影などの記録及び頒布・販売に関する全ての権利(著作権、肖像権も含む)は、主催者である社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)に帰属するものとします。
- (2) 演奏の録音は、録音される人の了承を得ている場合、かつ、決められた場所で機材(電源含)を参加者ご自身が用意された場合のみ可能です。ただし、運営上の都合により、不可とさせて頂く場合もありますので、当日の係の指示に従って下さい。
- (3) 演奏のビデオ撮影は、撮影可能な地区であり、かつ、撮られる人の了承を得ている場合のみ可能です。当日は係の指示に従い、観覧者の迷惑にならないよう心がけて下さい。ただし、混雑状況等により、撮影不可とさせて頂く場合があります。

9. 結果の公表と表彰、褒賞について

- (1) 審査結果(入賞者の氏名、写真、全国決勝大会採点結果等)は、「ピティナ・ピアノコンペティション結果特集号(10月上旬発行)」およびピティナ・ホームページに掲載致します。また、結果が新聞等マスコミで発表される場合があります。
- (2) 予選において優秀賞以上の成績を獲得した参加者が、(1)の公表を希望しない場合、賞を剥奪することがあります。
- (3) 審査の結果、優秀な成績を取った方は、他のコンクールへの推薦、各種ご案内(入賞者記念コンサートのご案内、公開レッスン等各種イベントのご案内など)の送付をさせていただいております。
- (4) 地区により、特別賞が与えられることがあります。
- (5) ソロ部門特級のグランプリ受賞者には、ピティナ本部主催褒賞コンサート(海外・国内)に出演していただけます。また受賞後1年間、当協会広報媒体に顔写真・演奏写真等を掲載し、ピティナ・ピアノコンペティションの広報目的に利用させていただきます。

10. 運営について

- (1) 演奏順番は全ての選抜段階において、コンピュータによって無作為に振った結果で決定しています。
- (2) 運営上の都合により、規定時間内であっても審査員長の判断で演奏の一部をカットすることがありますが、採点には影響ありません。
- (3) 当日の結果発表は進行状況により掲示発表に変更になる場合があります。
- (4) 台風・地震など緊急時の開催可否の決定は、実施事務局からの情報を収集し、本部事務局で判断いたします。欠席見込みの程度により、通常通り実施、別日程で実施、地区移動などの措置を決定いたします。
- (5) 地区によりプログラムに参加者の氏名等が記載される場合があります。

※当協会の個人情報の利用目的につきましては下記をご参照下さい。

社団法人 全日本ピアノ指導者協会 個人情報保護方針
<http://www.piano.or.jp/info/homepage/privacy.html>

※未定情報を含めたすべての決定・変更内容等は、2010年3月1日以降随時、当協会ホームページにて発表いたしますので、必ずご確認ください。
<http://www.piano.or.jp/compe/>

1 参加資格

- ◆特級 年齢制限なし
- ◆G級 26歳以下
- ◆Jr.G級 高1以下、または15歳以下。ピティナ・ピアノコンペティションC級以上で地区本選優秀賞以上を受賞、またはこれに準ずる経歴のある方。(全国決勝大会定員15名程度)

※各級において、2010年4月2日の時点で上記の資格をみたしていれば、参加申込が可能です。

2 審査方法

- ◆審査は公開の場で行ないます。但し見学希望者多数の場合は入場制限を行なうことがあります。
- ◆採点票(予選)は当日参加者全員に交付されます。
- ◆演奏順番は全ての選抜段階において、コンピュータによって無作為に振った結果で決定しています。
- ◆審査員は当日発表されます。ただし海外招聘審査員は下記4名の予定。(全国決勝大会)



左より(アルファベット順)
ガブリエル・クオック(香港演芸学院ピアノ科主任教授)
ロバート・レヴィン(ハーヴァード大学教授)
クリストフ・リースケ(ザルツブルク音楽大学教授)
ワレン・トムソン(シドニー国際ピアノコンクール主宰)

3 褒賞

※2010年度の褒賞は、当協会ホームページにて発表予定。
<http://www.piano.or.jp/compe/>

特級

グランプリ:1名……総額 1,000,000円

- ◇文部科学大臣賞 ◇読賣新聞社賞
- ◇王子ホール賞
- ◇東京シティ・フィル賞
- ◇副賞

銀賞:1名……総額 400,000円

- ◇王子ホール賞

銅賞:1名……総額 200,000円

聴衆賞:1名 (ファイナルの最多得票者、ファイナル入場料収入の半額を授与)

●過去のグランプリ

- 2009年(第33回) 仲田 みずほ
- 2008年(第32回) 佐藤 圭奈
- 2007年(第31回) 尾崎 有飛
- 2006年(第30回) 前山 仁美
- 2005年(第29回) 金子 一朗
- 2004年(第28回) 後藤 正孝
- 2003年(第27回) 関本 昌平
- 2002年(第26回) 田村 響

※第1回～第25回についてはホームページをご参照下さい。
<http://www.piano.or.jp/compe/>

G級

金賞:1名……総額 400,000円

- ◇東京都知事賞 ◇読賣新聞社賞
- ◇ヒノキ賞 ◇洗足学園前田賞
- ◇王子ホール賞 ◇副賞

銀賞:1名……総額 200,000円

- ◇洗足学園前田賞 ◇王子ホール賞

銅賞:1名……総額 100,000円

ベスト4賞:1名

Jr.G級

金賞:1名……総額 250,000円

- ◇読賣新聞社賞

銀賞:1名……総額 150,000円

銅賞:1名……総額 80,000円

ベスト8賞:5名

4 開催日程

※ G 級・特級第一次予選は 2 地区まで併願が可能です。(詳細は参加規定を参照のこと)

特級

地区名	地区コード	開催日程	会場	WEB 締切日	郵送申込締切日(必着)
第一次予選					
特級一次 1	2911	6月26日(土)27日(日)	東邦音楽大学第一講堂	5月17日(月)	5月19日(水)
特級一次 2	2912	7月10日(土)11日(日)	東邦音楽大学第一講堂	5月31日(月)	6月2日(水)
特級一次 3	2913	7月15日(木)16日(金)	北とびあ つつじホール	6月7日(月)	6月9日(水)
第二次予選					
特級二次	7911	8月4日(水)5日(木)	かつしかシンフォニーヒルズ		7月21日(水)
セミファイナル(ソロ)					
	9001	8月19日(木)	第一生命ホール		8月10日(火)
ファイナル(協奏曲)					
指揮者打合せ		8月20日(金)		※非公開⇒会場・時間は確定後、参加者へ通知します。(都内)	
リハーサル		8月21日(土)		※非公開⇒会場・時間は確定後、参加者へ通知します。(都内)	
審査		8月22日(日)	第一生命ホール		

G 級

地区名	地区コード	開催日程	会場	WEB 締切日	郵送申込締切日(必着)	該当本選
第一次予選						
G 級一次 1	2901	6月5日(土)	東邦音楽大学第一講堂	4月26日(月)	4月28日(水)	G 級二次 1
G 級一次 2	2902	6月12日(土)13日(日)	東邦音楽大学第一講堂	4月26日(月)	4月28日(水)	G 級二次 1
G 級一次 3	2903	7月3日(土)4日(日)	東邦音楽大学第一講堂	5月24日(月)	5月26日(水)	G 級二次 2
G 級一次 4	2904	7月10日(土)11日(日)	東邦音楽大学創立 50 周年記念ホール	5月31日(月)	6月2日(水)	G 級二次 2
G 級一次 5	2905	7月17日(土)18日(日)	東邦音楽大学第一講堂	6月7日(月)	6月9日(水)	G 級二次 1
第二次予選						
G 級二次 1	7901	8月2日(月)3日(火)	かつしかシンフォニーヒルズ		7月22日(木)	
G 級二次 2	7904	8月5日(木)6日(金)	大泉学園ゆめりあホール		7月22日(木)	
全国決勝大会						
		8月21日(土)	第一生命ホール		8月10日(火)	

Jr.G 級

書類選考	2010年2月17日(水)必着(通過者30名程度 結果発表は3月1日予定)	
予 選	2010年4月18日(日)開催	<東音>ホール (通過者15名程度予定)
全国決勝大会	2010年8月20日(金)開催	第一生命ホール

※ 2010年6月下旬に「Jr.G 級のためのマスタークラス」を開催予定。詳細は書類選考通過者にご案内します。

5 課題曲

特級

○全体

第一次予選・第二次予選・セミファイナルを通じて、(1)～(4)の指定課題以外で、必ず「バロック」「ロマン」「近現代」のスタイルの作品をどこかで演奏するようにプログラムを組むこと。
〔クラシック〕スタイルは、第一次予選の指定課題なので制約から除外する。〔クラシック〕を第一次予選の指定課題以外に選曲することは自由。

○第一次予選

15分以上25分以内のプログラム。以下の(1)(2)を必ず含むこと。(1)(2)以外の作品を各自の選択により加えてもかまわない。

- (1) リスト、ドビュッシー、スクリャーピン、ラフマニノフ、バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、リゲティのエチュードから任意の一曲
- (2) ハイドン、W.A. モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタから、1つ以上の楽章（繰り返しは任意）

○第二次予選

20分以上35分以内のプログラム。以下の(3)を必ず含むこと。第一次予選との重複は認めない。

- (3) ショパンのエチュード作品10または作品25から任意の一曲

○セミファイナル

45分以上55分以内のプログラム。以下の(4)を必ず含むこと。第一次予選・第二次予選との重複を認める。

- (4) 邦人現代作品課題曲 中島 牧 作曲：「風」（約3分弱）

○ファイナル

右記の27曲のピアノ協奏曲より任意の1曲。
オーケストラ伴奏により審査する。
(岩村力指揮、東京交響楽団)



岩村力 (指揮)



東京交響楽団 (撮影:池上直哉)

注意

ア) 第一次予選は、運営の都合上、演奏を途中でカットすることがある。第二次予選～ファイナルは、原則として演奏を途中でカットすることはない。

イ) 邦人現代作品課題曲(4)の楽譜は、2010年3月1日カワイ出版より発売予定。

ウ) 各段階において、制限時間の著しい超過及び不足は失格となる場合がある。特にセミファイナルの演奏時間に不足がないよう十分に注意して選曲すること。

○モーツァルト

ピアノ協奏曲第20番 二長調 K.466
ピアノ協奏曲第21番 八長調 K.467
ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488
ピアノ協奏曲第24番 八短調 K.491
ピアノ協奏曲第25番 八長調 K.503
ピアノ協奏曲第26番 二長調 K.537
ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K.595

○ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第1番 八長調 op.15
ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.19
ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37
ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op.58
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73

○メンデルスゾーン

ピアノ協奏曲第1番 ト短調 op.25

○シューマン

ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

○ショパン

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11
ピアノ協奏曲第2番 へ短調 op.21

○リスト

ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調
ピアノ協奏曲第2番 イ長調

○サン＝サーンス

ピアノ協奏曲第2番 ト短調 op.22
ピアノ協奏曲第4番 八短調 op.44
ピアノ協奏曲第5番 へ長調 op.103

○グリーグ

ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

○チャイコフスキー

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

○ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番 八短調 op.18
バガニエーの主題による狂詩曲 op.43

○ラヴェル

ピアノ協奏曲

○プロコフィエフ

ピアノ協奏曲第3番 八長調 op.26

G 級

○全体

第一次予選・第二次予選・全国決勝大会を通じて、(1)(2)の指定課題以外で、必ず「バロック」「クラシック」「ロマン」「近現代」の4つのスタイルの作品をどこかで演奏するようにプログラムを組むこと

○第一次予選

10分以上15分以内を目安に選曲したプログラム。以下の(1)を必ず含むこと。1つのスタイルから数曲を選ぶ場合は、同一の作曲家の作品とする。組曲、ソナタ等からの抜粋も可。

- (1) ショパンのエチュード作品10または25から任意の1曲

○第二次予選

15分以上20分以内を目安に選曲したプログラム。4つのスタイルから、異なる2つ以上を必ず含むこと。1つのスタイルから数曲を選ぶ場合は、同一の作曲家の作品とする。組曲、ソナタ等からの抜粋も可。

○全国決勝大会

25分以上35分以内を目安に選曲したプログラム。以下の(2)を必ず含むこと。4つのスタイルから、異なる2つ以上を必ず含むこと。1つのスタイルから数曲を選ぶ場合、複数の作曲家の作品を選ぶことも可。

- (2) 第一次予選で演奏したものと同一のショパンのエチュード

注意

ア) 第一次予選は、運営の都合上、演奏を途中でカットすることがある。第二次予選～全国決勝大会は、原則として演奏を途中でカットすることはない。

イ) 各段階において、制限時間の著しい超過及び不足は失格となる場合がある。

Jr.G 級

○書類選考

書式に従い、過去の受賞歴、受賞時に演奏した曲目により選考。その際、予選の演奏曲目も提出する。全国決勝大会の曲目提出は不要。

○予選

以下の2曲を演奏すること。演奏曲順は任意。運営の都合上、演奏を途中でカットすることがある。

- (1) ショパンのエチュード作品10、作品25、3つの新練習曲から任意の一曲。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択（リピートは省略すること）
ハイドン ソナタ 二長調 Hob.XVI/24 第1楽章
ハイドン ソナタ 変ホ長調 Hob.XVI/28 第1楽章
ハイドン ソナタ 八長調 Hob.XVI/35 第1楽章

○全国決勝大会

任意の2曲以上を以下の条件で選択し、15分以上20分以内を目安にまとめて演奏すること。原則として演奏を途中でカットすることはない。演奏曲順は任意（書類記載順と変更してもかまわない）

- (1) 但し1曲は必ず7分以上とする
- (2) 「バロック」「クラシック」「ロマン」「近現代」のうち、少なくとも2つ以上のスタイルを含むように選曲する
- (3) 組曲・ソナタ等からの楽章・楽章抜粋は可、変奏曲の抜粋は不可
- (4) ソロ部門他の級の課題曲として指定されている作品も、選択可能とする

演奏上の注意 (全級共通)

※現在または過去に出版されたことのある作品のみとします。また、審査員より楽譜閲覧の希望があれば即刻 対応するため、各選抜段階では演奏曲目の楽譜を持参して下さい。

※第一次予選参加申込の際に、第一次予選～全国決勝大会までの演奏曲目全曲を時間付で記載して頂きます（Jr.G級は除く）。審査の際、全曲目のリストは審査の参考資料とします。

※演奏時間は最初の音が出た時より計測し、曲間も含むものとします。制限時間の著しい超過及び不足は失格となる場合があります。時間に不足がないよう十分に注意して選曲すること。

6 申込方法 (郵送)

★全地区インターネットによる申込も可能です。ホームページをご覧ください。
<http://www.piano.or.jp/compe/> 申込受付期間 :2010/4/1 ~各地区の締切日
 ★インターネット申込締切日は、申込書郵送と異なります。くれぐれもご注意ください。

1 参加申込書を書く

①参加級にチェック

●該当する級の□にチェック「レ」をしてください。

②参加地区の記入

●「予選地区名」「地区番号」「作品番号」を記入してください。

③参加者情報の記入

- 「氏名」「フリガナ」「参加者ID(※1)」を記入してください。
- 「性別」にチェックをつけ、「生年月日(西暦)」「年齢(申込時点)(※2)」「住所(※3)」「電話番号」「FAX番号」「E-mail(※4)」を記入してください。
- 「学校名」「学校の代表電話番号」「学年/卒業」を記入して下さい。
- ※1)過去にピティナピアノコンペティション及び、ピティナピアノステップ、ピティナピアノ演奏検定に参加された方にはIDがあり、3月上旬頃に、指導者の方にお知らせします。初参加の方、不明な方は、空欄でも結構です。
- ※2)年齢、学年などの記入に誤りがあることが判明した場合、その後の入賞を取り消し、賞状、副賞等の返還を求められることがあります。
- ※3)参加者の住所と、事務局からお送りする書類の宛先が異なる場合は、必ず事務局へご連絡ください。
- ※4)E-mailをご記入いただいた方には配信メールにて最新情報(時間割、結果速報等)をお届けいたします。なお携帯電話のメールではご覧いただけません。配信停止も随時可能です。

④指導者の記入

- ピアノ指導者の「ID番号」「氏名」「フリガナ」「住所」「電話番号」をご記入ください。(※1)
- ※)指導者欄に指導者の名前が記入されていない場合には、指導者割引・指導者賞受賞の対象となりませんので、ご了承下さい。IDが不明な場合は空欄でも結構です。
- ※)指導者欄に参加者ご本人の名前を記入することはできません。

⑤参加料の記入

●該当する料金区分(一般/指導者割引/会員割引)にチェックをつけ、参加料金を記入してください。

⑥課題曲の記入

- 「スタイル名」「作曲者名」「課題曲名」「演奏時間」を記入し、それぞれの段階で演奏するの□○をつけてください。
- ※公平を期すため、参加者からの曲目問合せには一切応じられません。
- ※曲目が複数ある場合は、下方空欄に横線を引き、欄を作ってご記入下さい。
- ※申込書に記入した曲目と、当日演奏曲が異なった場合、失格となります。
- ※楽章を抜粋して演奏する場合は、楽章ももれなく記入して下さい。楽章の記入忘れは、曲目違いとみなされ、失格となりますので十分ご注意ください。
- ※演奏時間は目安で結構ですので、1曲ごとに必ずご記入下さい。

⑦受賞歴の記入(申込書裏面、Jr.G級のみ)

2 参加料を振り込む

参加申込書に記入した金額を確認し、郵便局指定の振込用紙にて、下記口座まで正しくお振込ください。(銀行振込、現金書留、郵便為替などは不可。払込受領書はコピーをとり、原本を参加申込書裏面の所定欄に必ず貼付してください。)

●振込先 00100-5-712078
 ●加入者名 ピティナコンクール事業部

※一度お支払いになった参加料は原則として返金できません。

3 申込書をコピー

参加申込書は、必ずコピーをとってください。各地区の申込締切日より約2週間以内、内容確認のため、「登録情報カード」(ハガキ)が届きます。もしお手持ちのコピーと内容が異なる場合、速やかに事務局までご連絡ください。(FAX・E-mail・電話のみ、郵送は不可)

4 ポストへ投函する

市販の封筒に「○○級参加申込書在中」と明記の上、下記住所までお送りください。

●送付先
 〒170-8458 東京都豊島区巢鴨 1-15-1
 (社)全日本ピアノ指導者協会

※申込期間:2010年4月1日(水)~各級・各地区の申込締切日(必着)
 ※郵便書留で送付すると、郵便局で配達状況の確認が可能です。
 ※通常郵便で発送した場合、郵便事故等による紛失についての責任は負いかねます。
 ※申込書の到着確認は受け付けておりません。

■申込内容の変更について

A4の用紙に下記の要領で変更内容をご記入の上、本部まで郵送またはFAXにてお送りください。

地区変更

既に申し込んだ地区と、変更希望先地区の早い方の締切日迄に変更申請書必着。変更先の地区名を記入してください。

課題曲変更

第一次予選申込締切日迄に変更申請書必着。
 最終的に、各選抜段階において演奏する曲目を全て記入してください。

登録指導者名変更

2010年7月末日迄に変更申請書必着。
 最終的に登録する指導者名を記入してください(2名まで)。

変更内容は登録情報カードにてご確認下さい。登録指導者名変更の方は、申込締切日までにお送り頂いた場合は登録情報カードで、申込締切日を過ぎてお送り頂いた場合は2010年8月10日(木)までに返信致します。

■第二次予選の申込について

予選通過者に、交付された第二次予選申込書に記入の上、事務局までお送り下さい。参加料は「7.参加料」を参照、振込方法は第一次予選と同様です。

7 参加料

◆参加料金表

特級	一般	指導者割引	会員割引
第一次予選	¥19,000	¥18,000	¥17,000
第二次予選	¥26,000	¥24,500	¥23,000
セミ/ファイナル	無料		

G級	一般	指導者割引	会員割引
第一次予選	¥17,000	¥16,000	¥15,000
第二次予選	¥24,000	¥22,500	¥21,000
全国決勝大会	無料		

Jr.G級	一般	指導者割引	会員割引
書類選考	無料		
予選	¥5,000		
全国決勝大会	¥24,000	¥22,500	¥21,000

◆割引区分について

一般	参加者が下記の2つの割引に該当しない方
指導者割引	参加者のピアノ指導者が、ピティナ会員である場合
会員割引	本人またはそのご家族(2親等以内)が、ピティナ会員である場合

※「ピティナ会員」とは、本部登録会員(正会員、指導者会員、学生会員、支持会員、演奏会員、グランミュージズ会員)のみを指し、IDをお持ちでも会員証がない場合には割引は適用されません。(入会ご希望の方は本部事務局:会員担当までお早めにご連絡下さい)

※グランミュージズ会員は、本人が参加者の場合に限り、会員割引が適用されます。

⑦受賞歴

Jr. G 級のみ

※ピティナ・ピアノコンペティション以外の受賞歴含。分かる範囲で演奏曲目も記入すること（選考の対象となります）。紙面が足りない場合は別紙を添付すること。

年度	コンクール名	賞名・順位	演奏した曲目
2006	※記入例 ピティナ・ピアノコンペティション	G級●賞	テレマン/ファンタジア、ディアベリ/ソナチネ Op. 151-3 第1楽章 メンデルスゾーン/乗馬 Op. 102-3

払込受領証を、貼付してください。

(Jr.G 級書類選考は除く)

●振込先 00100-5-712078

●加入者名 ピティナコンクール事業部